

# 大学の世界展開力強化事業 取組実績 立命館アジア太平洋大学

【構想の名称】(タイプB-I) 米国における大学等との協働教育を行う交流事業

APU-SEUグローバル協働教育プログラム—入学前教育から大学教養・専門教育まで

【プログラムの目的・養成する人材像】

世界の多様な政治、経済、社会、文化等に関する総合的な理解にたち、国際社会、環境と開発、ビジネス等に関する基礎的及び専門的知識を修得し、言語力、コミュニケーション能力、問題解決能力等を涵養し、世界が直面する多様な諸問題・諸課題を解決に導くことのできるグローバル人材の育成を目指す。

【構想の概要】

米国のセント・エドワーズ大学(以下、SEU)と協働で、入学前から大学教養・専門教育までの学位取得プロセスにおいて国際水準の質の高い教育プログラムを構築し、言語力、コミュニケーション力、異文化理解力、広い視野と実践力・応用力、批判的・創造的思考力を持ったグローバル人材の育成を目指す。

## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成

(1)入学前留学プログラム	立命館アジア太平洋大学(以下、APU)入学予定者に対し、入学直前の3月にSEUへ短期留学するプログラムを提供する。言語レベルの把握と強化、異文化体験、大学4年間の目標設計を通じて、入学後の国際教育プログラム参加へのイメージを掴ませる。
(2)積み上げ式協働教養プログラム	APU・SEU両大学の強みを活かし、自大学、相手大学、または第3の場所(タイ・マレーシア)において、多様で幅広い教養教育を高めるプログラムを提供する。
(3)協働ダブル・ディグリー・プログラム	APU・SEU両大学で開講される教養教育と専門教育を体系的に学び、4年間で両大学の学位取得を可能とするプログラムを提供する。
(4)キャップ・ストーン科目	上記のプログラムによって得られた多様で広範な知識を統合し、専門教育に繋げる科目を学生の学びの段階に応じて提供する。

上記の取組みを通じて、教養教育、専門教育、留学等によるアクティブ・ラーニングの体系化を図り、国際水準の成績評価、単位認定制度、ラーニング・アグリエメントを整備し、国際教育のモデルを構築する。

## ■ 平成23年度に実施した交流プログラムの概要

### 積み上げ式協働教育プログラムBusiness in Japan (BIJ) の実施

16名のSEU学生をAPUにおいて約1週間受け入れ、日本を中心としたアジア地域における国際ビジネスについての講義の受講、企業訪問、日本文化体験などを行った。APUの学生をサポート役(バディ)として付け、学生同士の交流を深めることができた。

### 入学前留学プログラムの実施

APUへの入学予定者8名がSEUへ約2週間滞在、英語学習、大学入学準備講座の受講、SEUの日本語クラス訪問や日本企業視察を通し、英語能力の強化・異文化体験を行った。国際的な視野を得た上での大学入学後の目標設計ができたほか、BIJに参加したSEU学生との交流も学生主体で始まり、相互交流事業の効果が見られた。



〈SEUキャンパスの風景〉

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

### APU学生の派遣

本年度は入学前教育プログラムにて20名を派遣、積み上げ式協働教養プログラムにおけるSEU・東南アジアでのプログラムに15名程度を派遣予定。平成25年度より協働ダブル・ディグリー・プログラムにおいて5名の派遣を目指す。

### 留学生の受入

本年度は積み上げ式協働教養プログラムにおいて、2プログラム各10~20名程度を受け入れ、平成25年度より協働ダブル・ディグリー・プログラムにおいて年間5名の受け入れを目指す。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	8	33	70	70	70
学生の受入	16	35	40	40	40

(延べ人数。H23は実績、H24以降は予定数)

## ■ 学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

### 留学アドバイジング体制の強化

既にAPUで実施している日英2言語対応、国際標準の成績評価(GPA制度)、国際教育寮等に加え、本プログラムに対応したアドバイジング体制を設置している。参加プログラムに応じた事前・事後授業やガイダンス、アドバイジングを実施し、学修・生活の両面で、円滑なプログラムの参加を促進している。



Business In Japanでの交流会の様子

## ■ 教育内容の可視化・成果の普及

### 教育内容の可視化・プログラム内容の改善

eポートフォリオを開発、学生の学びを蓄積し、学生の成長や各プログラムの成果の検証を行っている。また、国内外の有識者に外部評価委員を委嘱、委員からのレビューにより、客観的評価をもってプログラムの改善に繋げている。

### 成果の普及

本プログラムのホームページやリーフレットを作成、プログラムの情報発信を行っている。今後は国内外の研修会や国際会議等において、他大学に向けて成果発表するほか、韓国の大学等、国内外の他大学との展開なども行っていく予定。